

災害が起きる前に! 家庭でできる防災対策

万一の災害も、一番身近な家庭でどれだけ備えておくかが大切です。
どこに、何を、どれだけ準備するか、その目安を紹介します。

固定しよう!

家の中の棚、タンス、机、冷蔵庫など大きな家具・電気製品は必ず固定しましょう。スーパーやホームセンター、金物屋などで販売している調整のできるストッパー、ポール、ワイヤーなどを利用できます。



備えよう!

水、食品、トイレ用紙、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロ など

最低3日分は
用意しよう

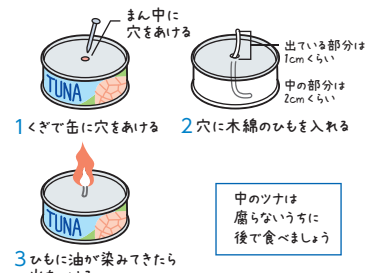
非常時の持ち出し品も確認

ヘルメット・防災ずきん
マスク 軍手 懐中電灯
毛布・タオル ラジオ
予備電池 洗面用具



かんたん!

ツナ缶ランプの作り方



警戒レベルが発表されたら!



ご近所のお年寄りに
声をかけよう!

- 耳が聞こえづらい方にもわかるように、大きな声でゆっくりと「お手伝いしましょうか」などと声をかけましょう。
- 足が不自由な方には歩く速さや歩幅を合わせてあげましょう。



政府広報オンライン

災害が発生したときに、とるべき行動を5段階の「警戒レベル」にしています。参考にして避難に備えましょう。

出典:政府広報オンライン <https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201906/2.html>

「だれがどこに」
確認の仕方を
知っておこう

● 電話

災害用伝言ダイヤル
局番なし「171」

※大災害時、被災地内の電話番号に限ってのサービス



● インターネット

大災害発生時には、携帯電話各社のポータルサイトのトップメニューに「災害用伝言板」へのリンクが表示。登録された伝言板は各社の携帯電話やパソコンなどで、電話番号をもとに検索できます。

防災公園って何があるの?

防災公園では災害時、マンホールのフタを外せばトイレになったり、ベンチの座る部分を外せば、かまどに早変わり! 火を起こせば、煮たり、焼いたりすることもできます。

マンホールがトイレに!



ベンチがかまどに!



ウソ(フェイク)のニュースに 注意しよう!

インターネットや SNS などで災害情報を見るときは、気象庁や自治体の公式ウェブサイトなど、信頼できるサイトから確認するようにしましょう。フェイクニュースが流れることもあるので、情報の発信元の確認や情報が間違っていないか、別のサイトをチェックすることも大切です。



災害のプロ! 防災士って何ができる?

防災士とは、災害への備え、対応をよく知っている災害のプロです。専門の資格を持っていて、地震や洪水が起きたときの安全な避難方法の周知や防災講演、避難所訓練などで活躍しています。



自分の行動範囲の
危険な場所、避難場所を
事前に確認しておこう

ハザードマップポータルサイト

<https://disaportal.gsi.go.jp>

